

授業科目	栄養と薬			担当教員	柴田 哲雄		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>本学科は、健康と栄養に係わる高度専門職業人の育成をその教育目標としている。それには健康の維持・増進、疾病の予防及び治療に必要不可欠な栄養面のみでなく、薬の基本的事項や栄養と薬物の相互作用についても理解しておく必要がある。本科目では、薬物についての基本的事項、とくに薬物の吸収・代謝・排泄などの薬物体内動態、薬理作用、飲食物と薬物の相互作用とそのメカニズムなどを理解して説明できることを目標とする。</p>							
	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	健康の維持・増進において栄養面のみでなく、栄養と薬物の相互作用にも関心を持ち、その目標を達成する意欲と態度をもつことができる。			・授業態度・授業への参加度		10%	
思考・判断	栄養と薬物の相互作用に関する知識をもとに思考し、有害事象を含めた相互作用の存在を判断できる。			・定期試験		20%	
技能・表現	飲食物と薬物の相互作用を理解して栄養指導ができる。			・定期試験		20%	
知識・理解	飲食物と薬物の相互作用を含めて薬物に関する基本的事項を説明できる。			・定期試験		50%	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・評価点は定期試験の結果を90%とし、授業態度及び授業への参加度を10%として算定する。 ・定期試験は筆記式、穴埋め式、選択式などの単独あるいは組み合わせで行い、薬物及び栄養の基本的事項と両者の相互関係を理解して説明できるかを評価する。 ・授業態度及び授業への参加度に関しては、授業への集中度、質疑応答の程度などを評価する。 							
授業の概要							
<p>本科目では、薬物の体内動態（吸収、代謝、排泄）、薬理作用及びその他に関する基本的事項、薬物と飲食物の相互作用などに関する授業を行う。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：栄養科学シリーズNEXT「栄養薬学・薬理学入門」川添禎浩、古賀信幸（編）講談社 参考書：「食と薬の相互作用」山本勝彦、山中克己著 幸書房 「薬と食の相互作用（上巻）」澤田康文著 医薬ジャーナル社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の理解を深めるために、事前に指定教科書に目を通し、予定の授業内容の概略を把握して授業に臨むこと。 ・授業終了後には、授業内容を復習して要点をまとめ、関連の事項についても調べておくこと。 ・本科目の受講を通じて健康の維持・増進、疾病の予防及び治療における飲食物と薬物の重要性を理解し、日常生活においても飲食物と薬物の相互作用などに常に関心を持って欲しい。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	序論	食物から薬を求めて、その他	予習：教科書 p1～6 (第1章) 復習：授業内容のまとめ
2	薬物の基礎知識	種類、法令、薬物の作用、剤形、投与方法	予習：教科書 p7～27 (第2章) 復習：授業内容のまとめ
3	薬物の体内動態	吸収、分布、代謝、有害作用	予習：教科書 p28～36 (第2章) 復習：授業内容のまとめ
4	疾病治療薬の概要 (1)	主要な疾病・病態の治療薬	予習：教科書 p37～56 (第3章) 復習：授業内容のまとめ
5	疾病治療薬の概要 (2)	主要な疾病・病態の治療薬	予習：教科書 p57～76 (第3章) 復習：授業内容のまとめ
6	消化管からの薬物吸収	吸収、代謝、排泄に関する器官と機序	予習：教科書 p77～85 (第4章) 復習：授業内容のまとめ
7	食事と服薬時間	内服方法、内服時間、食物摂取時の薬物吸収	予習：教科書 p87～96 (第5章) 復習：授業内容のまとめ
8	食事の薬効への影響 (1)	高脂肪食、高蛋白食の影響	予習：教科書 p97～105 (第6章) 復習：授業内容のまとめ
9	食事の薬効への影響 (2)	食品中特定成分の影響	予習：教科書 p107～126 (第7章) 復習：授業内容のまとめ
10	食事の薬効への影響 (3)	食品中ビタミンの影響	予習：教科書 p127～132 (第8章) 復習：授業内容のまとめ
11	食品と薬物の相互作用 (1)	健康食品と薬物	予習：教科書 p133～137 (第9章) 復習：授業内容のまとめ
12	食品と薬物の相互作用 (2)	サプリメントと薬物	予習：教科書 p140～147 (第10章) 復習：授業内容のまとめ
13	食欲調節と薬物	食欲調節機構、食欲に栄養する薬物	予習：教科書 p149～173 (第11章、第12章) 復習：授業内容のまとめ
14	消化器症状を起こす薬物	口渇、嘔気、嘔吐、下痢を起こす薬物	予習：教科書 p175～179 (第13章) 復習：授業内容のまとめ
15	無機成分異常とビタミン欠乏を起こす薬物	各種無機成分への影響、ビタミン欠乏症	予習：教科書 p181～187 (第14章) 復習：授業内容のまとめ
16	定期試験		